

てくてく特派員

縄文資質覚醒道場
縄文塾

「人と森の関係」が私の
ライフワーク。
縄文の精神(こころ)
に触れてみませんか?



縄文塾塾長・中村忠之さん



● 学習会

縄文塾では、しばしば外部から専門家を招いて学習会を開きます。写真は、塾長が読んで感銘を受けた本『日本を捨てて、日本を知った』の著者・林秀彦さん(シナリオライター)を、比婆郡口和町の「鮎の里公園」に招いて行った学習会の様子です。参加した人はみんな真剣にお話に聞き入っていました。

縄文塾 information

設立：平成7(1995)年
年会費：2,000円
会員数：200人以上(県外含む)
活動内容：セミナー・講演会の開催、「縄文塾アート展」の開催、機関誌「縄文通信」の発行
問い合わせ：082-244-0800
<http://www.urban.ne.jp/home/jyoumonji/>

広島市内で活動を展開している市民団体に、市民のみなさんが「特派員」として参加し、その活動をレポートするコーナーです。

“縄文人”の資質を蘇らせる

今回の特派員
数本正子さん



PROFILE

広島市中区や佐伯郡湯来町などで「パッチワークスタジオ アトリエ絵夢(えむ)」の教室を開く。縄文塾設立時からのメンバー。

みなさんは、「縄文塾」と聞かれて何を思い浮かべられるでしょうか。私は中村塾長とは知人だったのですが、最初声をかけていただいた時は正直あまり興味がなかったんです(笑)でも、一度参加してみてびっくり。とても話がおもしろくて、目からウロコが落ちるような体験でした。

縄文塾は、「現代の日本人の中に眠る、森と共に生きてきた縄文人の優れた資質を蘇らせよう。縄文人の考え方に学び、日本人の現在・過去・未来について考えよう」という中村塾長の考えのもと、年齢・職業・性別不問のメンバーが集まってつくられた学習会です。

といっても、塾のような堅苦しい内容ではまったくありません。環境問題、国際問題、民族問題など、扱うテーマは多岐に渡っていますが、難しいと思われがちな問題を、独自の視点で分析し、みんなで楽しみながら考えようというのがモットーです。



● 縄文塾アート展

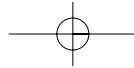
縄文塾には、芸術の分野にも優れた才能を持つ人が多くいます。そこで毎年、旧日本銀行広島支店(広島市中区)で「縄文塾アート展」を開催し、秀作を多数展示。一般の方に広く公開しています。



● 歓談会

学習会の後で始まる「歓談会」。会食をしながらの和やかな会です。異業種の人との交流ができるので、とても刺激になります。これを目当てに学習会に参加する人もいます(笑)。





第1部

ゲスト...PEACEART実行委員会

PEACEART実行委員会とは、平成14(2002)年8月6~11日にかけてまちづくり市民交流プラザのギャラリー等で行われた「PEACEART」の主催メンバー。「PEACEART」とはテロに心を傷めたニューヨークで活躍するアーティストが中心になり、日本、ヨーロッパから100人のアーティストたちが「平和」をアートに託して表現したポスター展で、「ピアノ・コンサート」や市民ボランティア活動の紹介も行われました。

平和への思いを広島から発信(市民交流プラザギャラリー)



テーマ、ネットワークが生み出す力

「つながりはひろがり」

とき…平成14年10月30日
ところ…まちづくり市民交流プラザ2Fフリースペース

らっしゅくサロン

誰でも自由に
参加できる
オープンサロン

らっしゅくサロンとは、毎回テーマを設け、ボランティア・市民活動、生涯学習に取り組む人たちを中心に繰り広げられる座談会です。

平和への思いがひとつに

中島

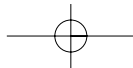
2001年の9月に、ニューヨークでテロがありましたよね。私はガイアネットワークという自主上映会を通して出会った人たちと地球環境を共に考えていく活動をしているだけに、ひどく心が揺れました。そんな状況の中、ニューヨークのアーティストが開催したピースアートをやらないか、とピースのウオンさんから声を掛け

柴田

られたんです。でも、21世紀になつて活動も盛り上がりつつあった時に受けたテロのショックがあったので、迷いました。
私は2002年の2月からピースアートの話をもらって、中島さんに話を持っていく前に、宮崎さんや橋本さん、伊藤さんたちにやりませんかと声を掛けていました。

留学生会館で何回か集まって話していたのですが、ある日たまたま留学生会館がお休みで、初めてまちづくり市民交流プラザに行きました。そこでプラザの職員にピースアートのことを話したら、中島さんという人も、同じ企画を広

黄永燦(ウオン・ウィンツァン)
東京を拠点に音楽活動や平和活動など多角的で幅広い活動を続けるアーティスト、ピースアートにおいてピアノコンサートを開催する。



これからのネットワークは、
変化に対応できることが大
切なのでは？



宮崎康明さん

留学生と“ともだち”の和代表

中島 島で実現したいと言われていま
す。今ちょうどブラザに來られて
いるから、ご紹介しましょう、と
いうことになって、さっそく会い
に行きました。
私たちは、8月6日に何をするか
で集まってたんですよ。柴田さん
から話を聞いて、ピースアートを
やるうということになったんです。
そして、そこで初めて女性教育セ
ンター、平和文化センター、まち
づくり市民交流プラザ、それぞれ
の施設を拠点に平和活動をやっ
ていたボランティアグループが一
つになることに。それがこのメン
バーなんです。
柴田 本当に偶然です。しかも、お互い
メンバーが集まっていたから話が
スムーズに運びました。

中島 私たちガイアネットワークの合言
葉は、「あなたの生き方が自然に適
っていたら、必ず自然界からの助
けがあります。」なんです。ホント、
この出会いは自然界からの助けだ
ったんだと思います。
宮崎 最初に話をもらった時、僕らの活
動とは異なる主旨だと思いました。
留学生との交流を通じて、人と人
が知り合って平和に結び付ける、
というのが活動の目標だったので
も、ちょうどあの時は9月のテ
ロがあつて、特別な思いが芽生え
ていたこともあり、やるうと思ひ
ました。ただお金の問題は非常に
大きかったです。でも、ガイアネ
ットワークの皆さんと出会い、ウ
ォンさんがコンサートの売り上げ
を利用してくださいとおっしゃっ
てることを聞いて、一気に問題が
解決しました。
橋本 ボランティアをやつてると、異分
野の人とは平行線で合にくいとい
うことがありますよね。でも私
たちは交差したんです。素晴らし
いことですよ。
中島 思いが一緒であれば、つながると
いうことですね。
宮崎 やつぱり広島に住んでいるとい
うことで、みんな活動の中で平和へ
の思いは持っていたんですね。
橋本 これまでの国際交流活動は、内容
は一緒でも、やっている活動の場
が平行線。だから国際交流活動の
中でも、横の線と一緒にしたとい
うのは初めてじゃないでしょう
か？
柴田 別々で活動をやつて、半年前は知

やりたいと思う人だけでやること



伊藤園実さん

アジアの友と手をつなぐ広島市民の会

グループの人に声
を掛ける時はあく
まで個人としてで
すね。

橋本 ポイントは、そのイベントのため
だけに集まって、終わったら解散。
このシンプルさがよかったのかも
しれません。それぞれの分野で活
躍していて、共通の意識がある時
に集まる。また、違うイベントが
あれば、そちらとつながる。
宮崎 ある一つのテーマですつとやる
というのでもいいと思いますけど、や
つぱり限界があります。ある程度
の規模のイベントをやる時は、ひ
ろくポイント、そのイベントのため
だけに集まって、終わったら解散。
このシンプルさがよかったのかも
しれません。それぞれの分野で活
躍していて、共通の意識がある時
に集まる。また、違うイベントが
あれば、そちらとつながる。
宮崎 ある一つのテーマですつとやる
というのでもいいと思いますけど、や
つぱり限界があります。ある程度
の規模のイベントをやる時は、ひ

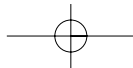


橋本真知子さん

NGOひろしま翼の会事務局長

異なるグループが
つながることは素
晴らしいこと
です。

橋本 とつのグループではできないこと
がありますよね。そこで必要な人
たちがパツといっしょになる。そ
ういう意味では、形ではなく人と
人との思いをつないであげば、あ
るテーマが出た時に対応しやす
いと思うんです。21世紀型のネッ
トワークの構築の仕方ですよ。
中島 そう。そして、適材適所に人を呼
べて、配置できる人が必要。私
たちは柴田さんでした。
柴田 ネットワークでやる場合、重要な
のが、やりたいと思う人だけでや
ること。無理やりつていうのはダ
メですね。そして、やりたいとい
う思いが一番強い人がリーダー
になればいいんです。
中島 じゃないと続かないですよ。例
えば、一日中職場に拘束される人



ネットワークをつくるメリット

太田

ネットワークをつくることの大きなメリットは、個々の活動では見えてなかった世界や意見などが見えてきたことかな。

伊藤

みんながそれぞれの役割を明確に分かっていったから、打ち合わせもゼロからのスタートではなかった。



太田千代さん
ガイアネットワーク広島ステーション

ひとつのグループでやっているとい井の中の蛙になってしまう時があるんです。

橋本

もいるし、子どもがいる人もいます。そういう環境を踏まえることが大切です。やりたいからやりましょうではダメですね。自分たちの能力を的確に判断して、無理なことはしないのは重要ですね。

橋本

もう一つのポイントが、グループ同士が集まるんじゃないって、個人

宮崎

最近、ビジネスのキーワードとして、プロジェクトプロデューサーという言葉があります。要は、あるプロジェクトを立ち上げたい時にそれをプロデュースする。やっぱりボランティアの世界でも、いろいろな能力を持った人材を適材適所に配置して、プロデュースすることは大切なことです。ボランティアも甘く見てはいけませんよ（笑）。「楽しくやろうね」だけでは、大きなことはできません。たくさん

柴田

一人では限界がありますよね。ネットワークというかみんなで作ること、規模と意義が大きくなるんです。それと広がっていくことが大切。何かイベントを行った時、そこで終わりにしないで、そこから派生していく、それが次の活動や人間の成長を生むんです。

橋本

こういうやり方をすればいいんだという参考にもなるので、人材が育っていきますよね。

柴田

だから短い時間で大きな力になった。すごいなと思いました。人のつながりの大切さと素晴らしいですね。一つのグループだけでやっている、考え方が固定化されてきますよね。ネットワークをつくと違う刺激をもらえますし、新しい人間関係が発展していくんです。



柴田幸子さん
広島市よい本をすすめる母の会会長

それぞれがやれる範囲内でやる、という体制をつくらないといけませんね。

橋本

これまでネットワークっていうと、団体を引っ張っての協議会だったんです。そうじゃなくて、個人として集まるんです。また、実行委

柴田

が集まること。

そうですね。みなさんさまざまな所属があるけれど、この実行委員会は、委員として参加する場合は、個人でした。そうしないと、実行委員会が決めただけをいよいよ団体を持って帰って、また話し合えないといけない。動きも遅くなるし、発言に組織を代表しているというプレッシャーもかかりますよね。

中島

20世紀型の運動は、組織が進めてきましたが、21世紀型のネットワークは、志を持った個の集まりでつくる必要があると思います。

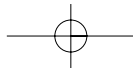
伊藤

個人で集まることは重要です。PRとか受付とかに組織は使いたけど、それは、個人として自分の組織の人間に声をかける程度なんです。



中島夏代さん
ガイアネットワーク広島ステーション代表

志を持った個の集まりが次代の活動の礎となるんです。



第2部

ゲスト...子育ておたがいさま～ズ 実行委員会

「子育ておたがいさま～ズ実行委員会」とは平成14（2002）年10月26日（土）に行われた「～おたがいさまの子育てできるまちづくり～」の実行委員のメンバー。講師として武蔵野市立0123施設総合アドバイザーの森下久美子さんを迎え、育児と育自に一生懸命の人たちを応援しようという交流会を所属団体の枠を超えて実施しました。



講演を聴く姿は真剣そのもの

個々のつながりとネットワーク

金子

こうした活動へ携わる第一歩は、私の場合、子どもと離れる時間が欲しくて受けた、中央公民館での託児付きの子育て講座。内容はともかく託児がついているので、自分の時間が取れるのがうれしくて、こうした講座に続けて通ううちに、今度は提供する側に回れるんじゃないかと、いろいろな子育て関係の講座に行き、勉強するようになりました。

山内

私は、子どもとどうやって遊んでいいか分からなくて、がむしやにいろいろな所に行っているうちに知り合いができて、いつの間にか活動の輪に入っていました。

塩成

私は子どもが小さい時から、サークルの代表をやっていました。というのが、転動してきたので友達ができたらいいなあって。で、ずっと子育てサークルをやってきて、子どもが幼稚園に入って手が空いた時に、なんだか気が抜けて。今までは子どもがいて自分がいたという感じだったので、これを機会に自分探しをすることにしました。そのうちに、私は子どもが好きなんだということに気が付いて、今度は支援する側に回ろうと思います。

楽しくやれましたよ。できることだけをやるう、と決めてやったからかな。



山本紀子さん
子育てオープンスペースOYAKO

桑田

私は、どこかに行きたかったんです。家と公園とスーパースーツという生活じゃなくて、子育てサークルに行きたいなって。公園に行くのも楽しかったし、そこに来ている人たちとも仲が良かったんだけど、どうも物足りなくて、もっと広い世界に行きたかった。そこで、子連れでも参加できるサークルへ、「入れて！」って入っちゃったんです。

山本

吉島公民館など、いろいろな講座に通いました。

私は、育児ノイローゼになりかけていたんです。その時に、公民館の託児付き講座ってものを知って。そこから育児サークルにも参加しました。自分も子育てで大変な思いをしたから、支援してあげたいなって思って、いろいろな講座に積極的に参加しているうちにネットワークができたんです。

ネットワークをつくるときは、「楽しい人と集まってやろう！」という空気が大切ですね。

金子



金子留里さん
子育て支援サークルげんき発信隊代表

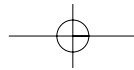
桑田

みんなが同時に知り合ったんじゃないって、子育て関係の講座とかで知り合っていたんです。そういう講座に来る人は、たいてい同じ顔ぶれでね（笑）。何回か会ううちに声をかけ合うようになって。最初からみんなグループを持ってるわけではないです。最初は割と個人的に何かがやっていたり、講座に行ったり、そのうちそれぞれやりたいことを見つけて、グループをつくりたり、入ったりして。そのうちまた顔を合わせて、じゃあ今度何かする時は協力してねって流れになって。

金子

そうですね。私たちの場合、ネットワークを構築したというのではなく、元々やりたいことをやっていた仲間が集まったって感じ。グループがあつてネットワークができたんじゃないって、ネットワークがあつて個々のグループがあるというのかなと思います。

4年前に中央公民館がロータリークラブとの共催事業という形で、『みんなで子育て』という子育て支援事業を3年間、行っただけです。



当日はとても多くのお母さんたちでにぎわいました。

塩成

今思えばあれは子育てネットワークをつくるという狙いがあったんでしょね。

金子

もう、個人としてどこで知り合ったのかは、つきあいが長過ぎて思い出せませんね（笑）。

最近、子育てオープンスペースとか子育て支援をやりたいっていう人たちが増えてきています。私が中央公民館で、オープンスペースを始めた時は、周りに似たようなものがなくて、初めはサークルと

塩成

何が違うのかとか、公民館は学習の場であって子育て支援の場所ではないとか言われましたけど、その時の中央公民館の職員が、子育てをする人を支援をするのではなくて、支援をしようとして懸命頑張っている人たちを支援しているんだって、ずっと支えてくれました。公民館の職員との出会いもネットワークですよ。

その職員が今は吉島公民館にいて、私にオープンスペースをやらな

ネットワークのメリットと運営方法

金子

私たちはイベントをするために集まるんじゃなくて、集まっておいで何かしない？ と考えるんです。もちろんイベントによって誘う仲間はずれです。その趣旨に興味がない人に声をかけても、乗りませんもの。一応声はかけますが、やりたい人だけしか寄ってこないものだから、「こんなイベントやろうと思ってるんだけど」と声を掛けて、返事を返してくれる人だけを巻き込む。だから一回一回、実行委員のメンバーは違いますね。



塩成聖恵さん

子育てオープンスペースフリーフリー

私は始め、お母さんとしてのスタートでした。

山内美緒さん
山田ふわふわ堂

いろいろな人と会おうと、元気がでますよね。

塩成

い？ って働きかけてくれたんです。ネットワークが広がっていますよ。

山本

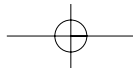
ネットワークのメリットは、やっぱりいろいろな特技を持った人が集まるから、いろいろなことができること。狙ってるわけじゃないけど、司会ができる人とか、モノをつくるのが上手な人とかが集まる。すると、そういう人に刺激を受けることができるんです。

金子

いろいろな人からたくさんのお話を聞かせてもらって、それが今度別の場で生かされればいいですね。

桑田

関わり方も、その都度違いますよね。前は深く関わったけど今回はそうじゃないとか。そこはみんな自分たちの生活があるし、さまざまな活動をしているから。



ネットワークはつくるものじゃなくて、できるもの。



桑田晴子さん

子育て・自分育て発信基地ピーターラビットの会代表

楽しい人と楽しい雰囲気

金子 私たちは子どもが仲よしでつながったわけじゃなくて、個人でつながっているんです。

山本 そのメールを読んで返事を返すだけで、その日の集まりに参加したような気分になりましたね。一人ひとりの負担は大きくないんです。行ける時だけ行く、無理はしなくてもいい体制づくりは必要でしょうね。

金子 今回の場合は、実行委員のみなさんが忙しかつたので、なかなか集まれなかつたんです。だから基本は電子メールを使って、情報を流しました。だから、来れなくてもみんな大体の流れが把握できる体制がつくれたのは、良かった点だと思います。

塩成

金子

共感できる個人とね。意見の根幹に反発がない人とやるから楽しいし、続くんでしょうね。いろいろな分野の人を巻き込みたいですよ。いろいろな刺激がありますから。でも考え方が合わない人と無理はしたくない。外から見

桑田

ている人たちに、もっとこういう分野の人を巻き込めばいいのにつて勧められることもありそうですけど、その人が入ることによって、できたネットワークを維持するための新たな努力がかかってくるから。

楽しい人とやっている楽しい雰囲気

気は伝わると思うんです。その雰囲気は伝わるから、また新しい人が参加してくる。これがネットワークだと思っんです。つくろうと思ったネットワークはうまく機能しない、と思うんです。グループでつながるんじゃない、同じ思いを持った個人がつながることが大切なんだ、と感じています。



いかがですか。日頃の活動にちょっとした変化をもたせたネットワークイベント。そこで活動したみなさんの声は何かつかまえたように弾んでいました。一人では難しいことも、みんなで協力し合えば大きな力に。今後どういったネットワークが生まれ、どんな活動を見せてくれるのでしょうか。これからもネットワークが生み出す力から目が離せそうにありません。

今回のテーマは「広島のマチを楽しむ人たち」の予定です。オープンサロンなので、どなたの参加も大歓迎。参加希望の方は、後日らしく編集部からご案内を送らせていただきます。詳しくは、はさみ込みの別紙アンケートをご覧ください。